



2019年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月12日

上場会社名 株式会社SOU 上場取引所 東
 コード番号 9270 URL https://www.ai-sou.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寄本 晋輔
 問合せ先責任者(役職名) 社長室長 (氏名) 深谷 良治 (TEL) 03-4580-9983
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第3四半期の連結業績(2018年9月1日~2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	27,538	19.3	1,537	5.4	1,537	10.1	1,015	6.0
2018年8月期第3四半期	23,084	—	1,458	—	1,396	—	958	—

(注) 包括利益 2019年8月期第3四半期 1,012百万円(5.8%) 2018年8月期第3四半期 956百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第3四半期	167.85	153.89
2018年8月期第3四半期	167.65	152.47

- (注) 1. 当社は、2017年8月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 当社は、2017年11月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 当社は、2018年3月22日に東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場したため、2018年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2018年8月期第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第3四半期	13,467	5,608	41.6
2018年8月期	12,258	5,796	47.3

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 5,608百万円 2018年8月期 5,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	51.50	51.50
2019年8月期	—	0.00	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2019年8月期の期末配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,650	13.1	2,200	17.2	2,130	17.9	1,450	16.7	238.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年8月期3Q	6,290,640株	2018年8月期	6,070,510株
② 期末自己株式数	2019年8月期3Q	179,000株	2018年8月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年8月期3Q	6,052,492株	2018年8月期3Q	5,714,962株

(注) 当社は、2017年11月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は改善が続いたものの、中国経済の減速に伴い製造業を中心に景況感が悪化し、企業収益については改善に足踏みが見られました。また、米中貿易摩擦の深刻化による中国をはじめとしたアジア経済の減速、世界経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、さらなる事業規模の拡大に向け、国内における買取店舗の新規出店、移転・退店を進めてまいりました。「なんぼや」については10店舗の新規出店と3店舗の移転を実施いたしました。

「古美術八光堂」については1店舗を新規出店し、こちらは「古美術八光堂」としては初の百貨店進出となりました。買取事業ブランド全体としての集客・運営効率化のため実施した退店、及び移転を合わせ、当第3四半期連結会計期間末における買取店舗数はグループ全体で72店舗（うち2店舗は移転に際し並行稼働中の旧店舗であり当事業年度中の退店を予定）となりました。この他、百貨店雇事場での買取会を実施し仕入れ増大の機会を創出するとともに、百貨店への出店加速の足掛かりとすべく活動してまいりました。

販売においては、2018年9月より業者向けオークション「STAR BUYERS AUCTION（スターバイヤーズオークション）」のオンライン入札オークションを国内で開始するとともに、香港ではダイヤモンドオークションを3回（2018年9月、11月、2019年2月）、時計オークションを2回（2018年11月、2019年2月）開催いたしました。また、これら香港オークションをはじめ海外販路の強化・拡大に向け、子会社STAR BUYERS LIMITEDの香港オフィスをオークション会場併設の新オフィスへと拡張移転いたしました。小売りにおいては、「ALLU（アリュー）」「usus（ウズウズ）」「ZIPANG（ジパング）」の3ブランドにて、リアル店舗・ECの統合的な運営の効率化を進めるとともに、訪日旅行者の取込みや国内顧客への認知度向上を図ってまいりました。

また、所持品の実物資産としての管理・運用を提案する資産管理アプリ「miney（マイニー）」について、他社サービスとの連携等により潜在顧客との接点を拡大するとともに、買取店舗来店客に対する登録誘致を継続することで、効率的な顧客の囲い込み、リピーター化につなげております。

さらに、新たな試みとして、当社が保有する買取・販売のビッグデータと市場の需給バランスや為替変動などの外部環境要因を掛け合わせ、適正な買取査定金額や販売金額の瞬時の算定を目指し、AIの導入・活用に向け北海道大学との産学連携共同研究を開始いたしました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は27,538,531千円（前年同期比19.3%増）、営業利益は1,537,195千円（前年同期比5.4%増）、経常利益は1,537,278千円（前年同期比10.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,015,931千円（前年同期比6.0%増）となりました。

なお、当社グループは「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、株式会社古美術八光堂の自社オークションでの商品販売をはじめ、前連結会計年度末にストックしていた商品の販売が進んだことによる商品の減少181,547千円があった一方、買取店舗の新規出店に伴う仕入れ量増加に備えた現金及び預金の増加1,022,757千円、売掛金の増加116,303千円等により、前連結会計年度末に比べて937,594千円増加し、9,553,266千円となりました。固定資産は、のれんの減少110,866千円があった一方、買取店舗及び小売店舗の新規出店やSTAR BUYERS LIMITEDの香港オフィス移転に伴う建物及び構築物（純額）の増加311,802千円や、差入保証金の増加77,620千円等により、前連結会計年度末に比べ272,282千円増加し、3,914,619千円となりました。これらの結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,209,876千円増加し、13,467,886千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、買取仕入れの増加をはじめとした事業拡大に伴う運転資金確保のための短期借入金の増加2,010,000千円等により、前連結会計年度末に比べ1,752,373千円増加し、6,615,283千円となりました。固定負債は、社債の減少160,000千円や長期借入金の減少194,316千円等により、前連結会計年度末に比べ354,376千円減少し、1,244,044千円となりました。これらの結果、負債額は、前連結会計年度末に比べ1,397,996千円増加し、7,859,328千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ57,352千円増加したことに加え、利益剰余金の増加703,299千円があった一方で、自己株式の取得1,002,400千円があったこと等により、前連結会計年度末に比べて188,120千円減少し、5,608,557千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の連結業績予想につきましては、2018年10月15日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,650,766	4,673,524
売掛金	131,253	247,556
商品	4,606,990	4,425,442
その他	336,610	326,215
貸倒引当金	△109,948	△119,473
流動資産合計	8,615,672	9,553,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,314,004	1,625,806
その他(純額)	389,174	317,774
有形固定資産合計	1,703,178	1,943,580
無形固定資産		
のれん	514,961	404,095
その他	127,430	176,483
無形固定資産合計	642,392	580,578
投資その他の資産		
差入保証金	983,330	1,060,950
その他	315,137	332,176
貸倒引当金	△1,700	△2,667
投資その他の資産合計	1,296,767	1,390,460
固定資産合計	3,642,337	3,914,619
資産合計	12,258,009	13,467,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,864	12,195
短期借入金	3,050,000	5,060,000
1年内償還予定の社債	160,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	504,088	269,088
未払法人税等	447,799	296,622
賞与引当金	186,378	299,037
資産除去債務	18,943	17,451
その他	481,837	500,889
流動負債合計	4,862,910	6,615,283
固定負債		
社債	160,000	—
長期借入金	826,198	631,882
役員退職慰労引当金	50,375	60,380
資産除去債務	432,691	527,848
その他	129,156	23,933
固定負債合計	1,598,421	1,244,044
負債合計	6,461,332	7,859,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,582	1,005,934
資本剰余金	936,360	993,712
利益剰余金	3,912,029	4,615,329
自己株式	—	△1,002,400
株主資本合計	5,796,973	5,612,577
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△295	△4,019
その他の包括利益累計額合計	△295	△4,019
純資産合計	5,796,677	5,608,557
負債純資産合計	12,258,009	13,467,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
売上高	23,084,941	27,538,531
売上原価	16,652,132	20,464,197
売上総利益	6,432,808	7,074,333
販売費及び一般管理費	4,974,160	5,537,137
営業利益	1,458,647	1,537,195
営業外収益		
受取利息	165	60
為替差益	2,972	30,666
その他	14,028	16,431
営業外収益合計	17,165	47,158
営業外費用		
支払利息	22,326	23,197
支払手数料	55,873	10,205
その他	1,254	13,672
営業外費用合計	79,454	47,076
経常利益	1,396,358	1,537,278
特別損失		
減損損失	40,945	7,498
特別損失合計	40,945	7,498
税金等調整前四半期純利益	1,355,412	1,529,780
法人税、住民税及び事業税	587,346	531,668
法人税等調整額	△190,062	△17,819
法人税等合計	397,284	513,849
四半期純利益	958,128	1,015,931
親会社株主に帰属する四半期純利益	958,128	1,015,931

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益	958,128	1,015,931
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,605	△3,724
その他の包括利益合計	△1,605	△3,724
四半期包括利益	956,522	1,012,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	956,522	1,012,207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1回新株予約権及び第2回新株予約権の権利行使による新株式発行に伴い、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ57,352千円増加しております。

また、2019年1月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式179,000株の取得を行い、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,002,400千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,005,934千円、資本剰余金が993,712千円、自己株式が1,002,400千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。